

【海外の教育事情】

デンマーク大学入学事情

University Enrollment in Denmark

金沢大学国際基幹教育院高等教育開発・支援系／部門 堀井 祐介

HORII Yusuke

(Faculty of Higher Education Research and Development, Institute of Liberal Arts and Sciences,
Kanazawa University)

キーワード：デンマーク、大学進学、高校卒業認定試験

はじめに

本稿では、高い国際競争力を誇るデンマークにおける大学進学システムの概要について、具体的には、普通高校 (stx) における学修成果を測定する全国規模での普通高校卒業認定試験 (gymnasial eksamen) 制度、同試験の結果に基づく大学入学資格 (入学に必要な普通高校卒業認定試験科目 (adgangskrav)) および進路決定支援の仕組みについて紹介する。

デンマークおよびデンマークの教育システム

デンマークは人口約 578 万人 (2018 年、兵庫県とほぼ同じ)、国土面積 4.3 万平方キロメートル (九州 7 県より少し大きい) の北欧の小国であるが、高い税金に見合う公共サービスが提供されている高福祉国家として知られており、World Happiness Report2018 で 3 位 (2016 年 1 位、2017 年 2 位)、2016 Human Development Report では 5 位、Global Competitiveness Report2016-2017 では 12 位、Global Innovation Index 2016 では 8 位と幸福度、競争力などで世界上位に位置する国である。

デンマークの教育システムでは入学準備クラス 1 年 + 小中一貫課程 9 年 (計 10 年) が義務教育となっている。小中一貫課程で 10 年生を選択することも出来る。2016-17 年における入学準備クラス (0 年生) から 9 年生までの 10 学年の児童・生徒数は 676,855 名、10 年生は 36,072 名となっている。義務教育終了後、後期中等教育である高校教育 (3 年制、普通 (stx)、商業 (hbx)、工業 (htx) など)、もしくは職業技能教育 (2~4 年制) へ進学できる。その後、大学 (学士 3 年、修士 2 年、博士 3 年)、専門職課程 (3 年~4 年、半年間の実地研修あり)、職業実践教育課程 (2 年制) などの高等教育課程が用意されている。OECD の報告書 (Education at a Glance 2016) によると、いわゆる大学進学率は 71% となっている。デンマークの教育課程を表にまとめると次のようになる。

表1 (デンマークの教育課程)

分類	年数	名称	ISCED*1	EQF*2
保育所(幼児教育)		børnehave	0	—
就学前教育	1	børnehaveklasse	1	—
初等教育・前期中等教育	9(10年目は選択制)	grundskole (folkeskole)	1, 2	1, 2
後期中等教育	3	stx / hhx / htx eud / eux / euv	3	3, 4
高等教育	3-2-3	universitet	5, 6, 7, 8	5, 6, 7, 8
	3.5	professionalbachelor	5, 6	5, 6
	2	erhvervsakademi	5	5

*1 ISCED 国際標準教育分類 (International Standard Classification of Education)

*2 EQF 欧州資格枠組み (European Qualification Framework)

なお、後期中等教育までの全課程および一部の高等教育課程の所管は教育省 (Undervisningsministeriet)、大学を含む高等教育の所管は教育研究省 (Uddannelses- og Forskningsministeriet) となっている。

表2 (デンマークの後期中等教育 (高校教育を含む) の分類)

高校課程 (Gymnasiale uddannelser)	
Studentereksamen (stx), det almene gymnasium	普通高校
Højere handelseksamen (hhx), handelsgymnasiet	商業高校
Højere teknisk eksamen (htx), teknisk gymnasium	工業高校
Højere forberedelseksamen (hf) HF	高等教育進学準備試験*1
職業技能教育課程 (Erhvervsuddannelser)	
Erhvervsuddannelse for unge (eud)	若者向け職業技能教育
Erhvervsuddannelse og gymnasial eksamen (eux)	若者向け職業技能教育 + 高校課程
Erhvervsuddannelse for voksne (euv)	成人向け職業技能教育

*1 stx、hhx、htx の高校課程に進学しない場合の2年制課程。高等教育進学資格が得られる。また、stx等で獲得した成績が希望の進学先の基準を満たしていない場合などに成績をより良くするため個別の科目を履修する仕組みも備えている。

ここからは stx (普通高校) から大学への進学について説明させていただく。

普通高校でのカリキュラム

いわゆる普通高校にあたる課程は Studentereksamen (stx) と呼ばれる。stx では、生徒が、人文科学、自然科学、社会科学の分野における一般教養と能力を身につけることが求められている。stx の主目的は、高等教育（大学）への接続である。stx のカリキュラムは、必修科目 (obligatoriske fag)、分野別科目 (studieretninger)、選択科目 (valgfag) で構成されている。また、課程は半年の基礎課程 (grundforløb) (必修科目履修) と 2 年半の分野別学習課程 (必修科目、分野別科目、選択科目履修) に分かれる。必修科目は、デンマーク語 A/英語 B/第 2 外国語 B または A/歴史 A/古典学 C/物理学 C/体育 C/芸術 C/数学 C/宗教 C/社会 C/生物学 C、化学 C、地学 C から 2 科目である。これらに加えて、原則として、生物学、物理学、化学、地学の B レベルを 1 科目履修する。芸術は、絵画、ドラマ、メディア、音楽から選択する。第 2 外国語は、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、スペイン語から選択する。分野別科目では、入学後、半年間の基礎課程で学んだ自然科学系および言語系分野を土台に分野を選択する。分野別科目は、3 科目をパッケージとする (パッケージにより 2 科目の場合もある)。各科目のレベル (A, B, C) は学校により異なる。レベル C が初級、レベル B が中級、レベル A が上級となり、内容・学習時間に差がある。科目にもよるがレベル A の学習時間はレベル C の 3 倍から 4 倍程度となっている。どのような選択科目を履修するかはどのような分野別科目を履修しているかによる。

表 3 (分野別科目と選択科目の履修例：教育省 Web サイトより)

パッケージ例	人文科学系	自然科学系	社会科学系	芸術系
分野別科目	英語 A、ドイツ語 A、心理学 B	数学 A、物理学 B、化学 B	社会 A、数学 A、経営学 C	音楽 A、数学 B、心理学 C
選択科目	自然科学科目のどれか 1 つ B レベル、社会 B	英語 A、天文学 C	自然科学科目のどれか 1 つ B レベル	自然科学科目のどれか 1 つ B レベル、英語 A

基本的には在学中に 9 つの科目 (場合によっては 10 科目) について普通高校卒業認定試験 (gymnasial eksamen、以下 GE) を受ける (大半の科目は 3 年次 5 月)。その成績評価の平均が大学入学資格につながる。GE は全国統一日程で実施され、成績評価は 7 段階 (12, 10, 7, 4, 02, 00, -3) で行われる。認定試験に際して stx はグループ化され、採点ガイドに従い同じグループ内の別の stx の教員が採点を行う仕組みとなっているため、自分の所属する stx の生徒を優遇する採点はあり得ない。筆記試験については一部の科目において、全国一律で実施されている記述式問題の効率化を目指して、2016 年から Netprøver. dk という全国共通システムを利用しインターネット経由での課題提出が試行されてい

る。電子データでの提出により、盗用・盗作・剽窃を監視することも目的の一つである。Netprøver.dk 課題提示、課題に対する解答提出、盗用・盗作・剽窃等のチェック、判定・成績付けの4段階からなり、マニュアルも整備されている。

進路指導および大学進学情報

進路指導については、進路指導教員(studievejleder)中心に行われており、いわゆる担任制度はあるが担任教員は直接進路指導には関わらない。進路指導教員は stx 毎に複数配置されており、GE のスケジュール、成績等の生徒向け情報ポータルサイトである Lectio(www.lectio.dk)を通して探すことも出来る。また、教育ガイドサイト(UddannelsesGuiden(www.ug.dk)、以下UG)、進学登録サイト(Optagelse.dk(www.optagelse.dk/index.html)、以下OT)なども整備されている。UGは、教育省が運営する全国レベルでの進路に関する情報提供およびアドバイスポータルである。UGを通して、各地域毎に設置されている7つの進路指導センター(Studievalg-centre、高等教育向け進路指導)や各自治体毎の若者教育指導センター(Ungdommens Uddannelsesvejledning-center)に連絡することも出来る。また、UGではPC、スマートフォンその他デジタル機器を通じたチャット等によるアドバイス窓口(eVejledning)のほか、学びたい分野を提供している高等教育機関を検索できるサービス(Uddannelseszoom、以下UZ)も提供している。UZでは、学びたい分野から学べる大学を選択すると、複数大学間で、当該大学の教育の質、学習成果達成度、授業形態、授業時間配分、授業担当者等についての学生による評価結果を比較することが出来る。さらにUGには進学マップ(Adgangskort、以下AK)も用意されている。AKでは、生徒がstxの履修科目から進学可能学科がわかるサイトとなっており、stxでの履修科目登録時に参考にすることが出来る。AKは、基本的には商業高校(hhx)、工業高校(htx)、高等教育進学準備試験(hf)、若者向け職業技能教育+高校課程(eux)のカリキュラムにも対応している。この他、大学の学科毎にも進学指導窓口があり、個別の相談に対応している。OTは、進学希望者(留学生も含む)がデンマークの高等教育への進学申請をWeb上で行えるサイトであり、ここでも進学希望に対するアドバイス資料を見ることが出来るようになっている。

大学進学システム

デンマークにおける大学(university)は8つあり、多くの分野で入学定員はなく、条件を満たせば入学できる(ただし、一部の分野では入学定員がある)。大学進学には基本的にはKvote1(7月申請)、Kvote2(3月申請)の2つのルートがある。Kvote1が通常の入学資格であり、Kvote2はKvote1では要件を十分満たさない場合、学習意欲、職業経験、海外滞在経験などの追加情報を考慮して入学が認められる仕組みである。この追加情報は学科によって異なる。コペンハーゲン大学の場合、stx、htx、hhxなどの大学進学資格試験(Adgangsgivende eksamener)で平均6.0以上の成績、個別要件(学問分

野に関連する教育・活動、海外滞在経験、関連科目の成績など、学科によって異なる)、志望動機書、履歴書、関連根拠資料の提出が求められる。ただし、Kvote2での進学者数は限られており狭き門となっている。Kvote1での入学に関しては、学科別に進学に必要な科目(adgangskrav)、合格レベル(adgangskvotient、7段階評価での点数)、入学者数等の情報が公開されている。学科毎に、入学者数、成績等に基づき毎年、科目、合格レベルの見直しが行われている。

表4 (コペンハーゲン大学での例 (2017年))

学科	進学必要科目 adgangskrav	合格レベル adgangskvotient	入学者数
歴史学	デンマーク語A、英語B、その他外国語初級Aまたは中級B、歴史A/社会Bと歴史B/社会Bと思想史B/社会Bと現代史B/歴史Bと社会Cと宗教Cのいずれか	8.0	146
文学	デンマーク語A、英語B、その他外国語初級Aまたは中級B、歴史Bまたは思想史Bまたは現代史Bのいずれか	10.8	62
経済学	デンマーク語A、英語B、数学A、歴史B または思想史Bまたは社会Bまたは現代史B	8.0	413
数学	デンマーク語A、英語B、数学A	7.6	139
物理学	デンマーク語A、英語B、数学A、物理Aと化学B/物理Aと生物工学A/物理Bと化学A/地学Aと化学Aのいずれか	6.1	157
生物学	デンマーク語A、英語B、数学A、物理Bと化学B/物理Bと生物工学A/化学Bと地学A/化学Bと生物Aと物理Cのいずれか	6.4	210
医学	デンマーク語A、英語B、数学A、物理Bと化学B/物理Bと生物工学A/化学Bと地学A/化学Bと生物Aと物理Cのいずれか	11.2	550

まとめ

デンマークでは、日本のように入学試験による大学進学システムは採っていない。在学中に受ける普通高校卒業認定試験制度、必要な科目、合格レベルにより進学が決まる仕組みである。とは言っても、高校生にとってはかなりのハイレベルな点数を採らなければならないケースもありストレスとなっていることが関係者からのインタビューで明らかになっている。成績が足りない場合は kvote2 に申請を進める場合もあるが、kvote2 は枠が小さいためそちらも狭き門となっている。大学側では、毎年進学してきた学生の成績を判断し必要科目、合格レベルの見直しが行われている。進路指導については、担任ではなく、進路指導担当者によるアドバイス、教育省等による Web を活用したアドバイス、大学の学科によるアドバイスが組み合わされているが、保護者は生徒の進路決定にはあまり口出ししない文化であることもインタビューからわかった。